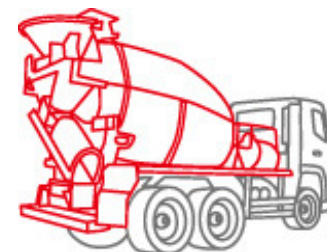
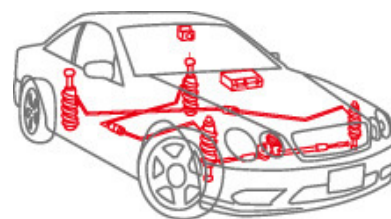
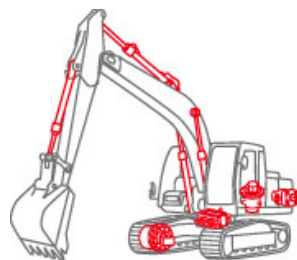


# 平成26年3月期 第2四半期 決算説明会



2013年11月12日

**KYB株式会社**  
**代表取締役 社長執行役員**  
**臼井 政夫**

# 目次

## 1.業績概要

- (1) 2013年度上期 連結決算概要
- (2) 2013年度通期 連結業績見通し

## 2.設備投資計画の進捗状況

## 3.AC(オートモーティブコンポーネンツ)事業の状況

## 4.HC(ハイドロリックコンポーネンツ)事業の状況

## 5.その他事業の状況

## 6.開発・モノづくり

## 7.次期中期計画について

# 1. 業績概要

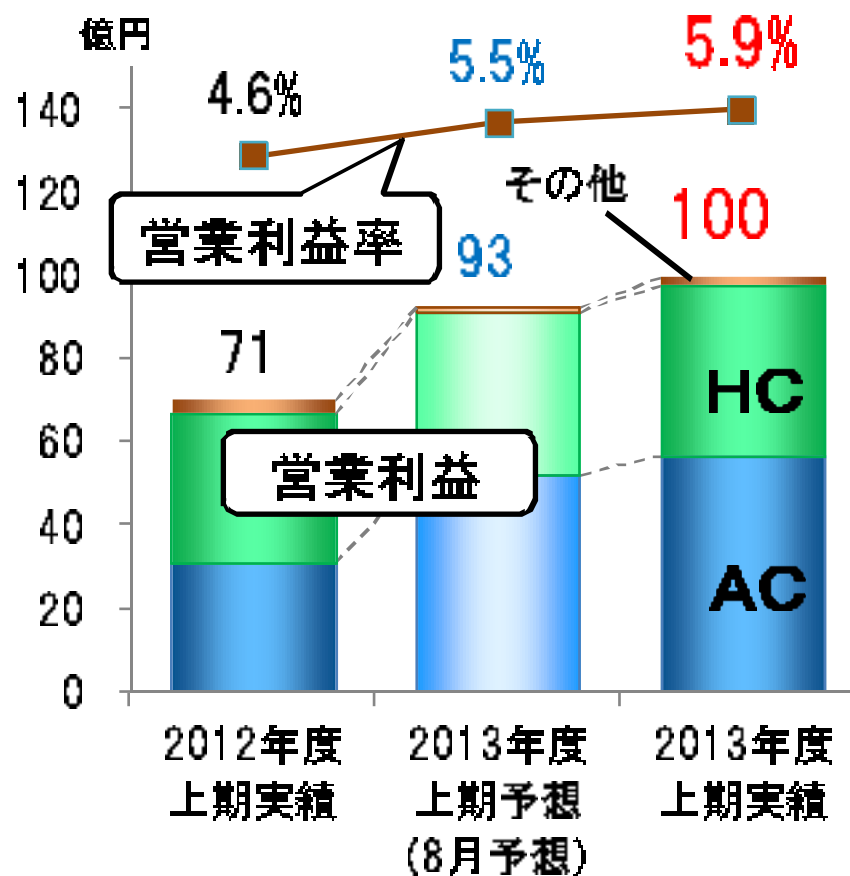
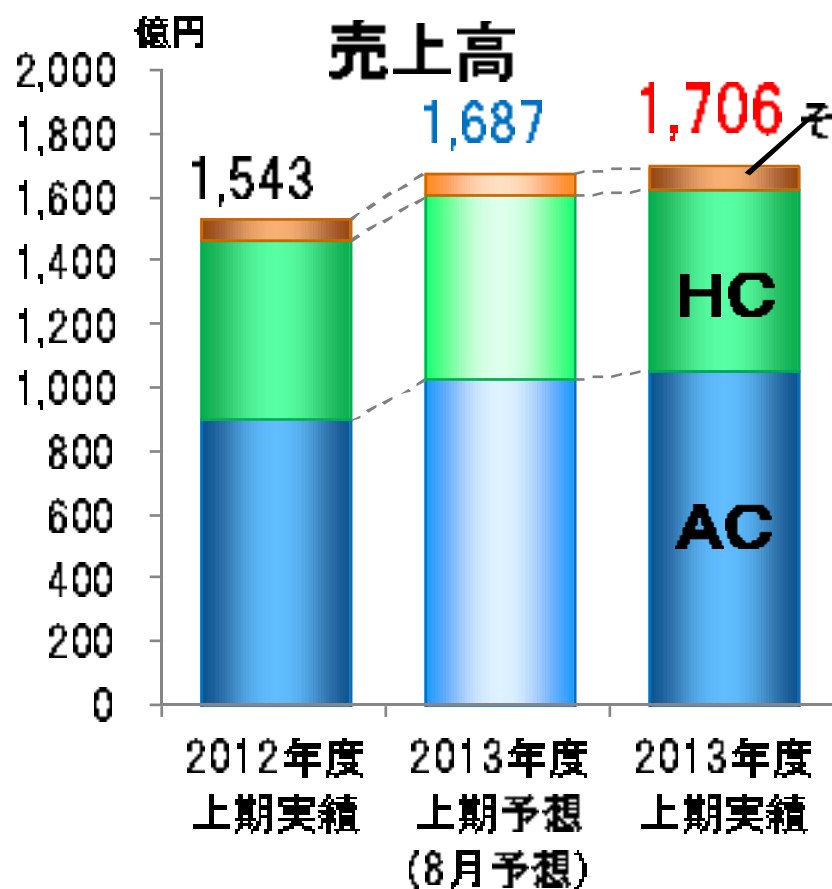
## (1) 2013年度 上期連結業績概要

# 1.業績概要 2013年上期 連結決算概要



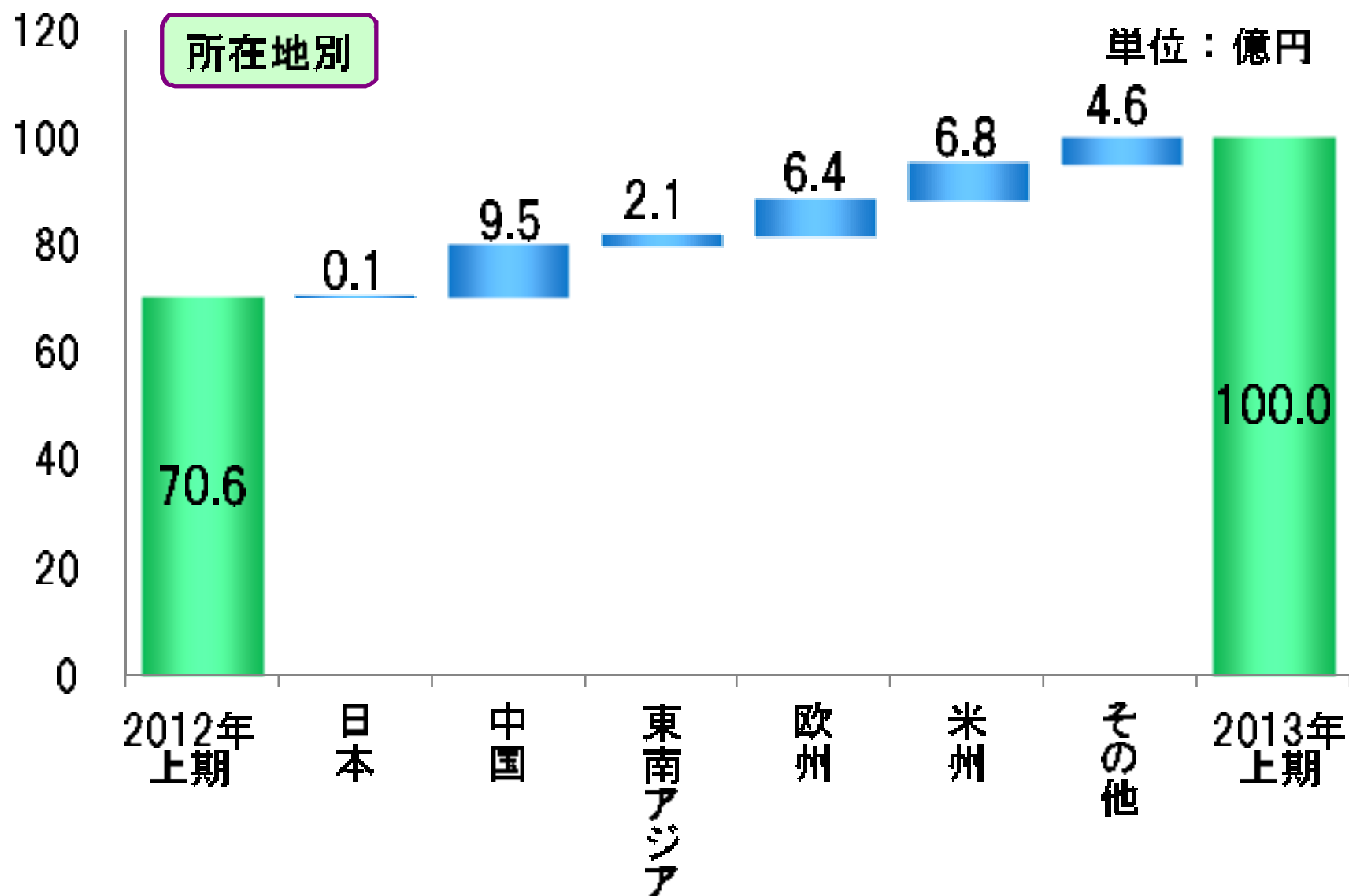
単位:億円	2012年度 上期実績	2013年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額 (前年同期比)	増減額 (前回予想比)
売上高	1,543	1,687	1,706	162	19
営業利益	70	93	100	29	7
経常利益	64	97	105	41	8
当期純利益	39	58	65	26	7
一株当たり 当期純利益	17.78円	26.24円	29.72円	11.94円	3.48円

# 1.業績概要 2013年上期 連結決算概要

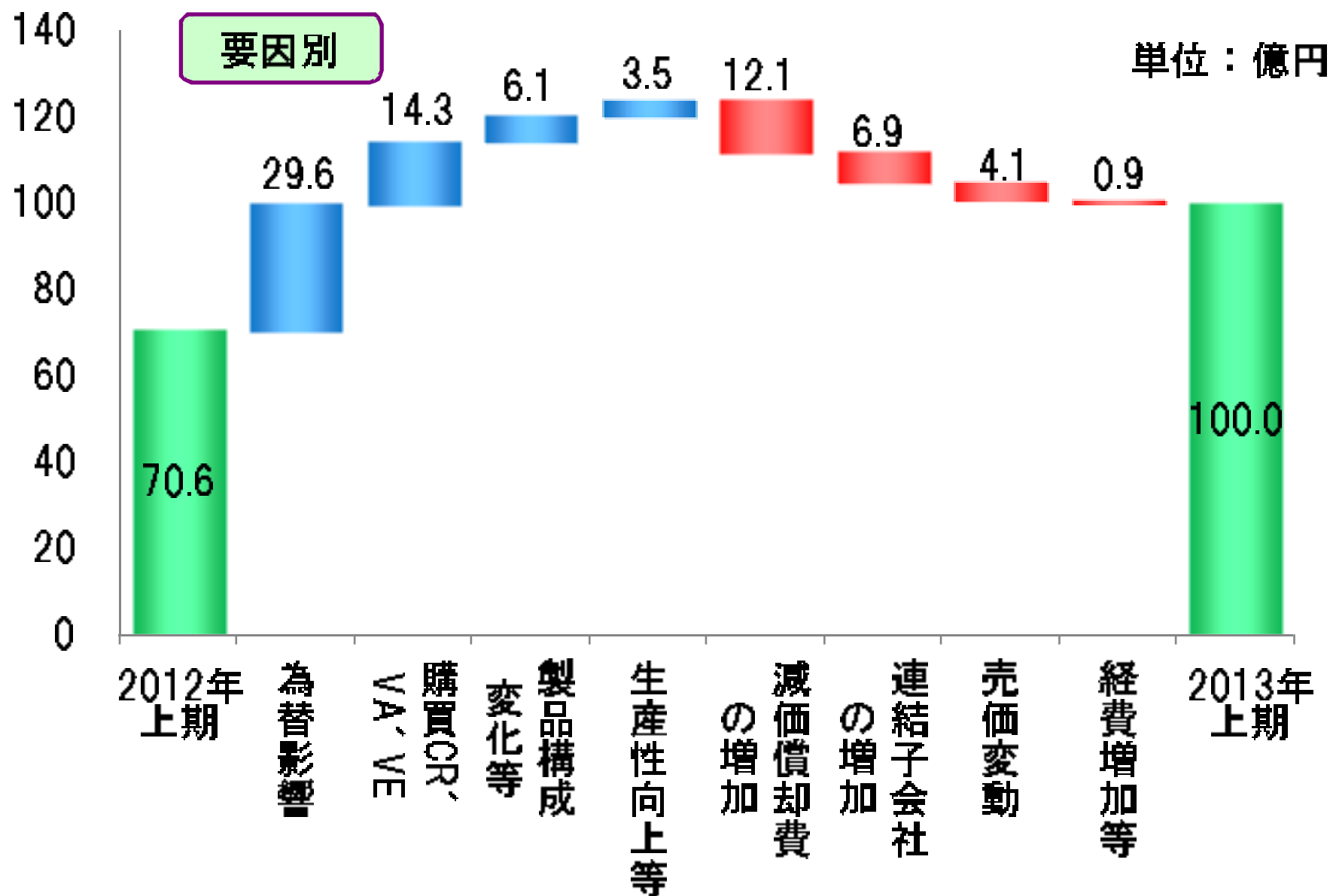


為替レート(平均レート)	2012年度上期 実績	2013年度上期 (8月予想)	2013年度上期 実績
円 / U S \$	79.41円	95.94円	98.85円
円 / E U R	100.63円	122.24円	130.01円

# 1.業績概要 上期連結営業利益増減



# 1.業績概要 上期連結営業利益増減



# 1. 業績概要

## (2) 2013年度 連結業績見通し



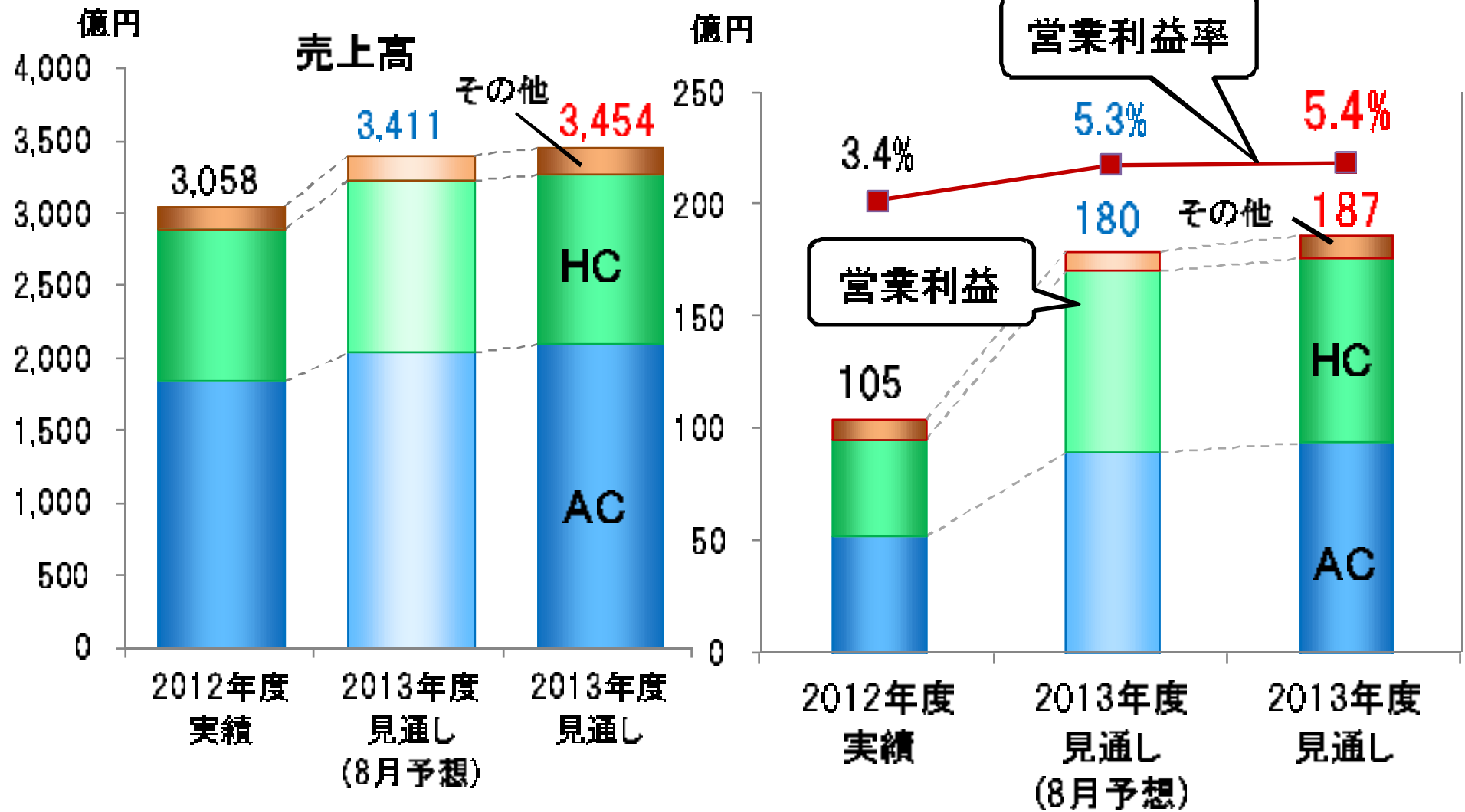
# 1.業績概要 2013年通期 連結決算見通し



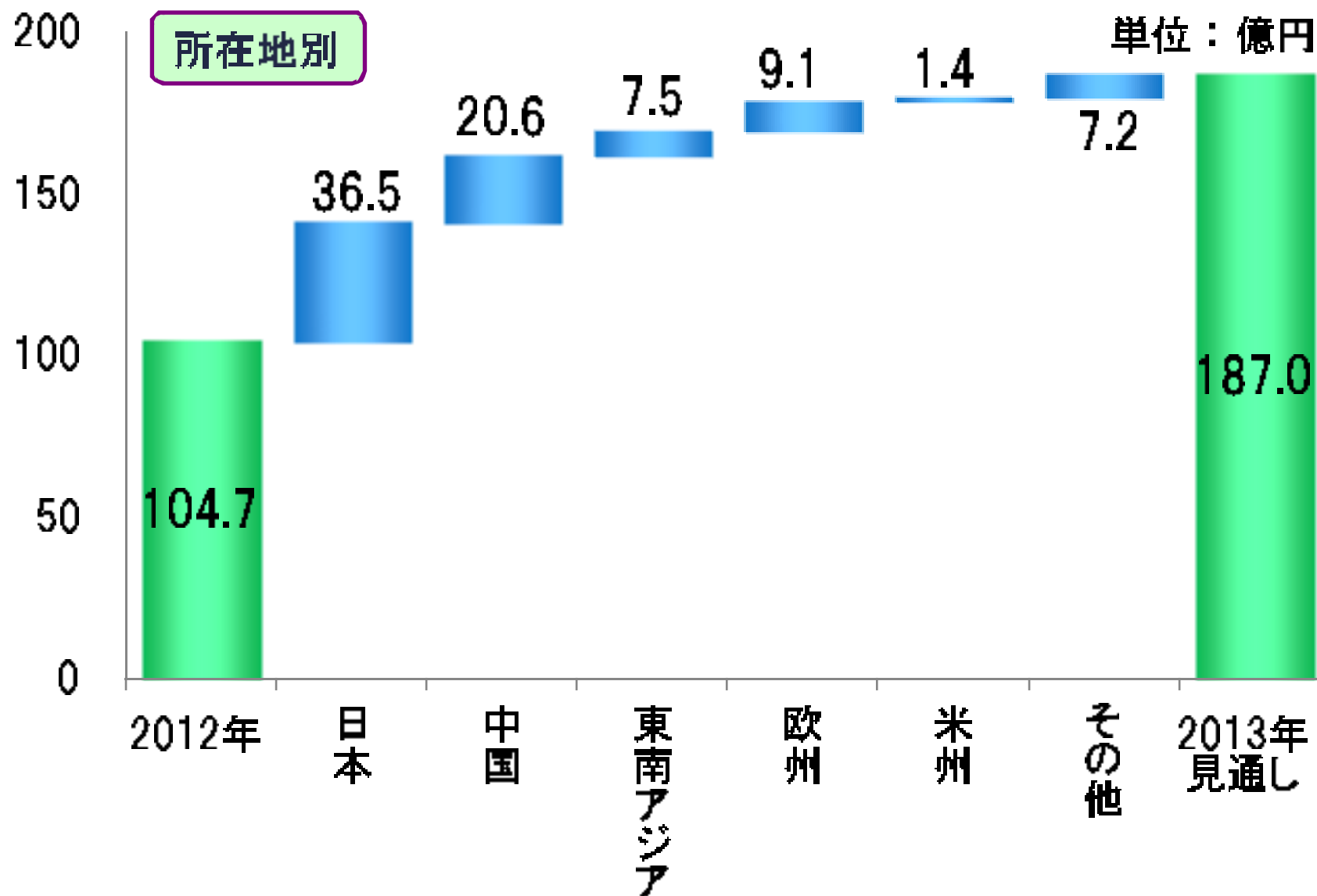
Our Precision, Your Advantage

単位:億円	2012年度 通期実績	2013年度 前回予想	2013年度 通期見通し	増減額 (前年比)	増減額 (前回予想比)
売上高	3,057	3,411	3,454	396	43
営業利益	104	180	187	82	7
経常利益	135	189	199	63	10
当期純利益	77	109	122	44	13
一株当たり 当期純利益	35.24円	49.31円	55.20円	19.96円	5.89円

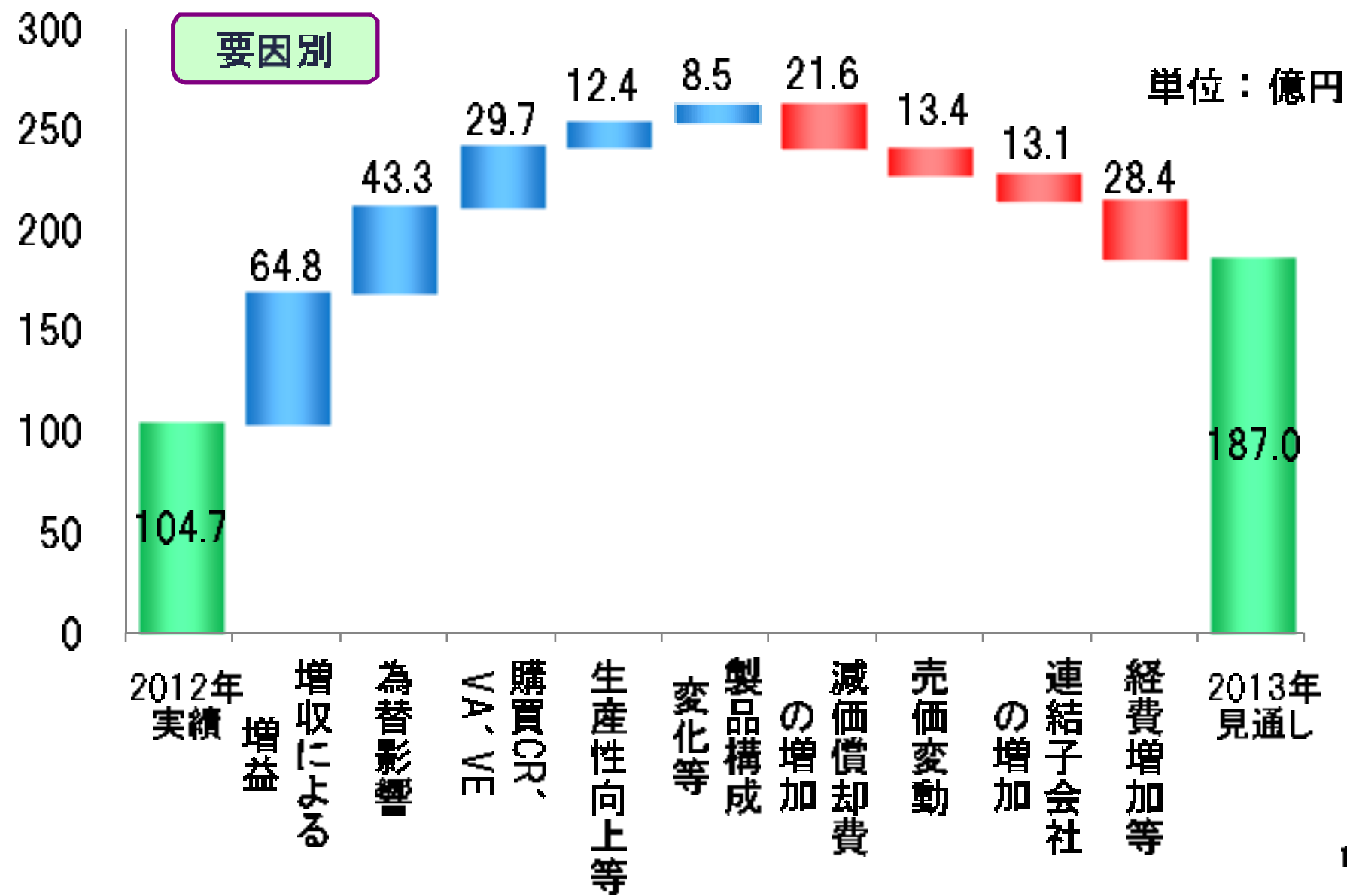
# 1.業績概要 2013年度 連結業績見通し



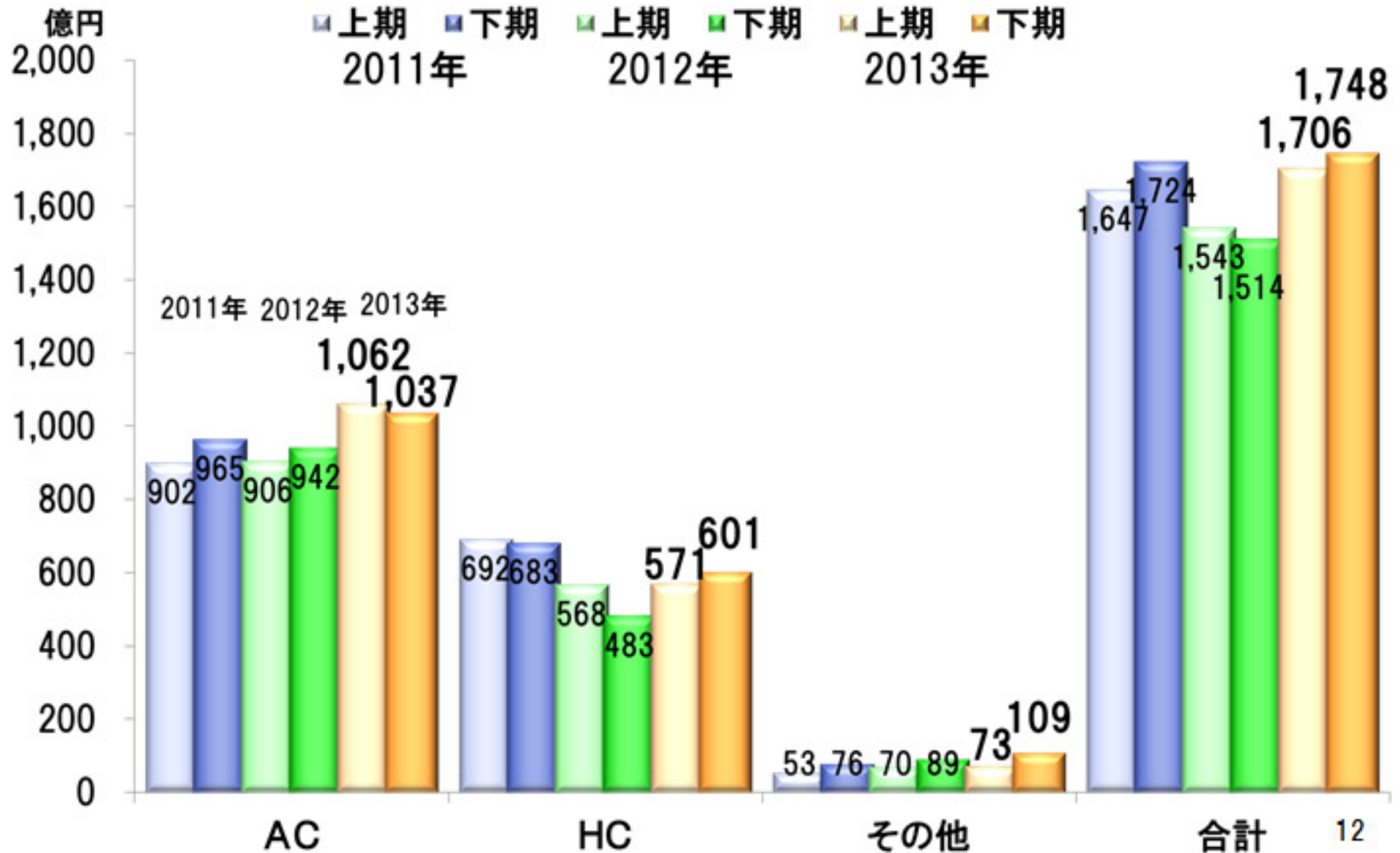
# 1.業績概要 通期連結営業利益増減



# 1.業績概要 通期連結営業利益増減

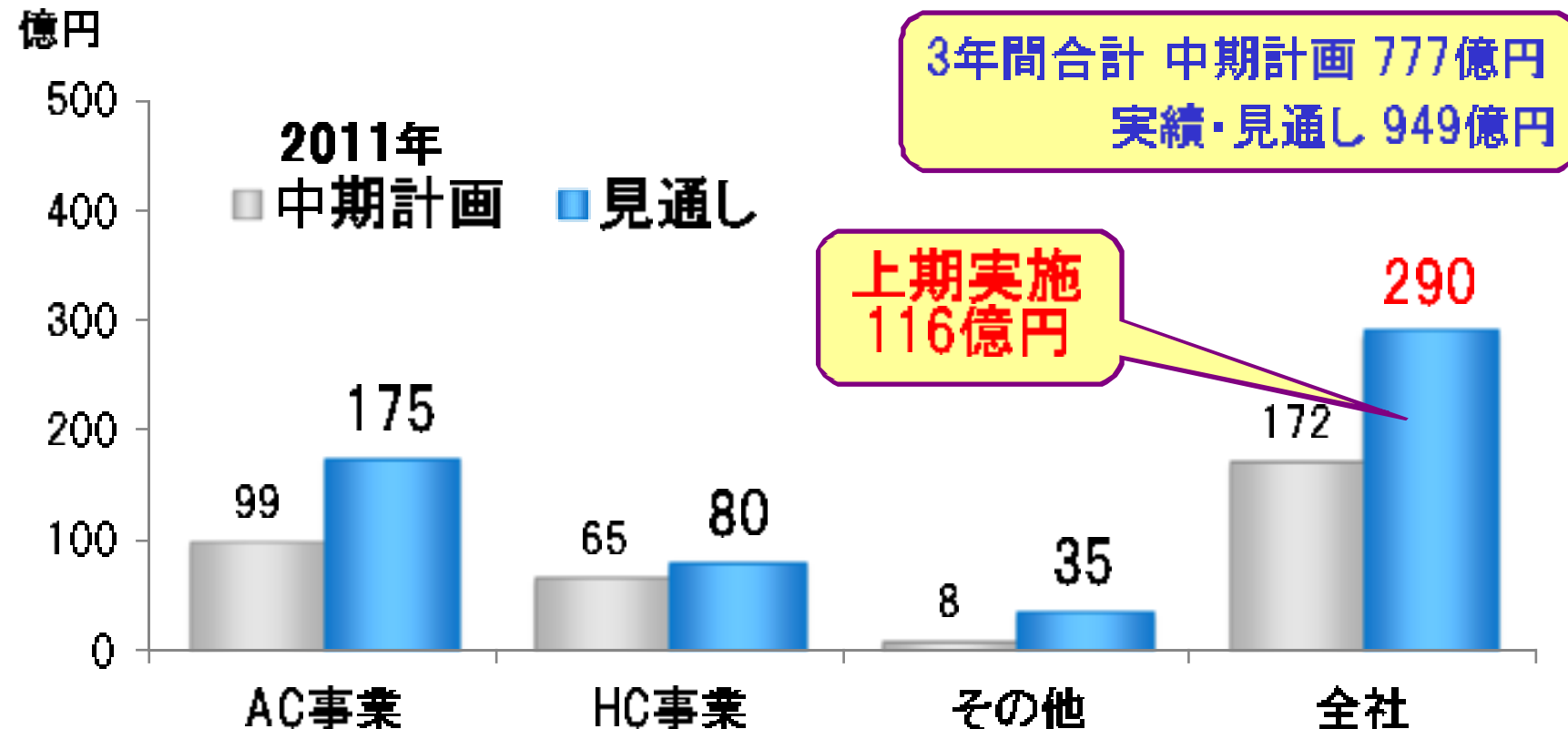


# 1.業績概要 セグメント別売上推移



## 2. 設備投資計画の進捗状況

## 2.設備投資(2013年度)



### 2013年度主要投資案件：

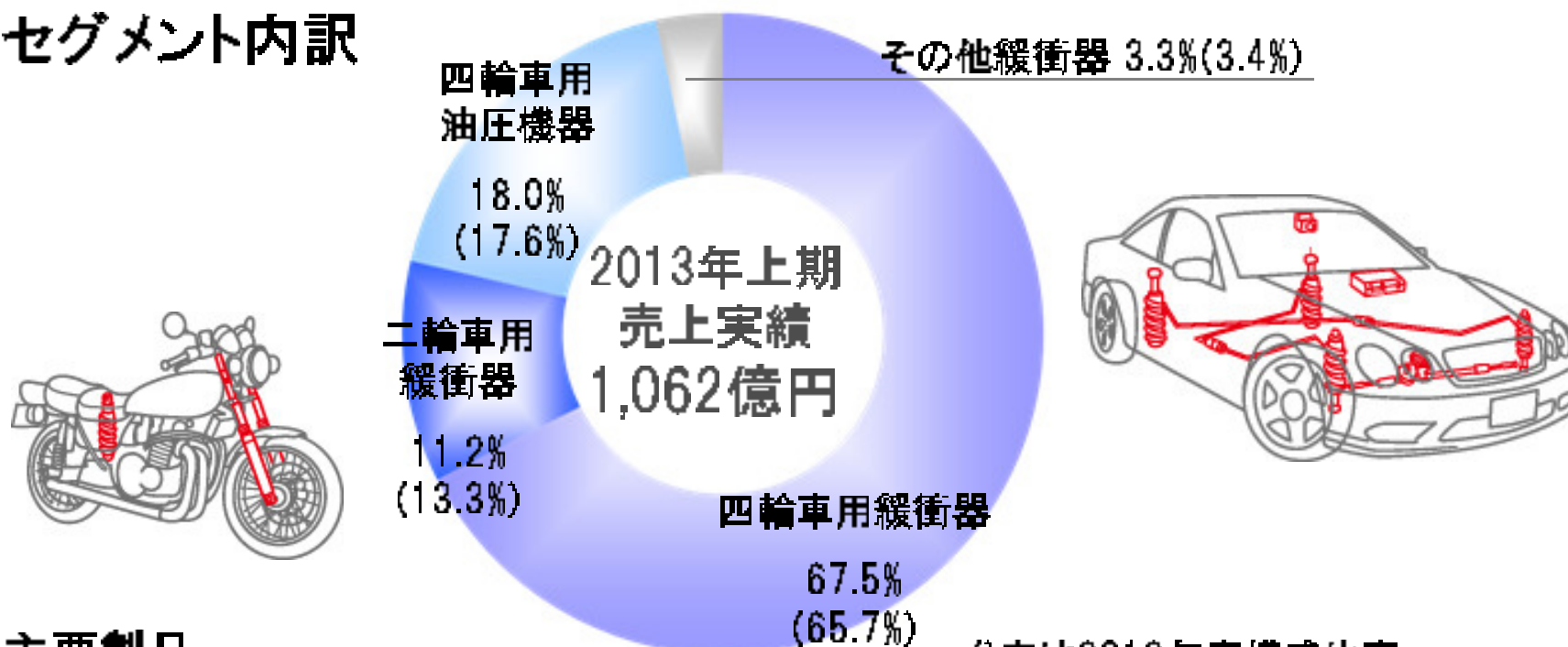
- ・ AC…CVT用ポンプ(メキシコ)、工場拡張(チェコ)、スプリング工場(チェコ)、二輪(インド)
- ・ HC…シリンダ新工場(インドネシア)

### 3. AC(オートモーティブコンポーネンツ) 事業の状況



### 3.AC事業

#### セグメント内訳



#### ■主要製品

( )内は2012年度構成比率

四輪車用緩衝器：ショックアブソーバ(OEM、市販、純正部品)

二輪車用緩衝器：フロントフォーク、リアクッションユニット

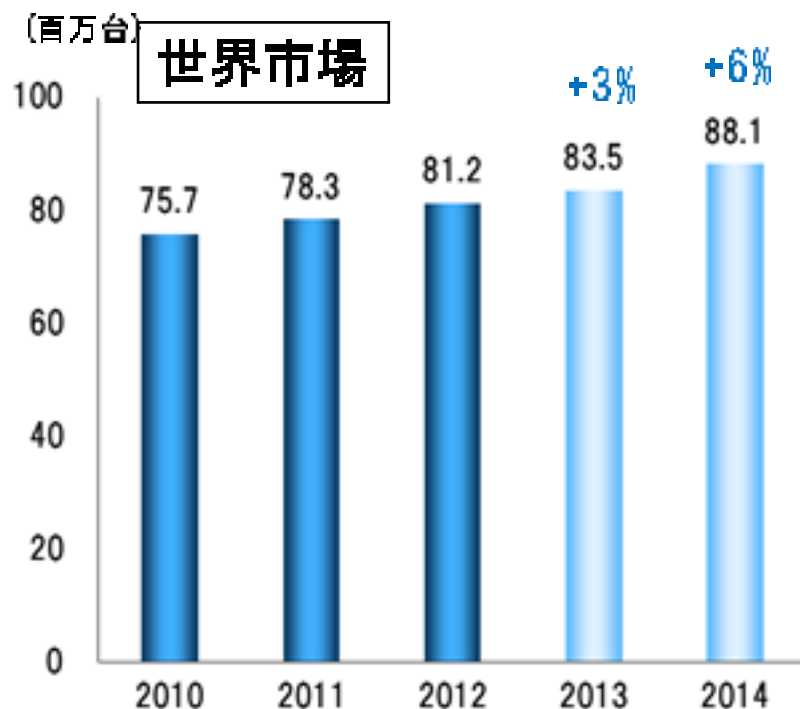
四輪車用油圧機器：CVT(無段変速機)用ポンプ、パワーステアリング(油圧・電動)

その他製品：ステアダンパ、ATV(全地形対応車)用機器

# 3-1.市場環境(自動車) グローバル地域別生産台数予測

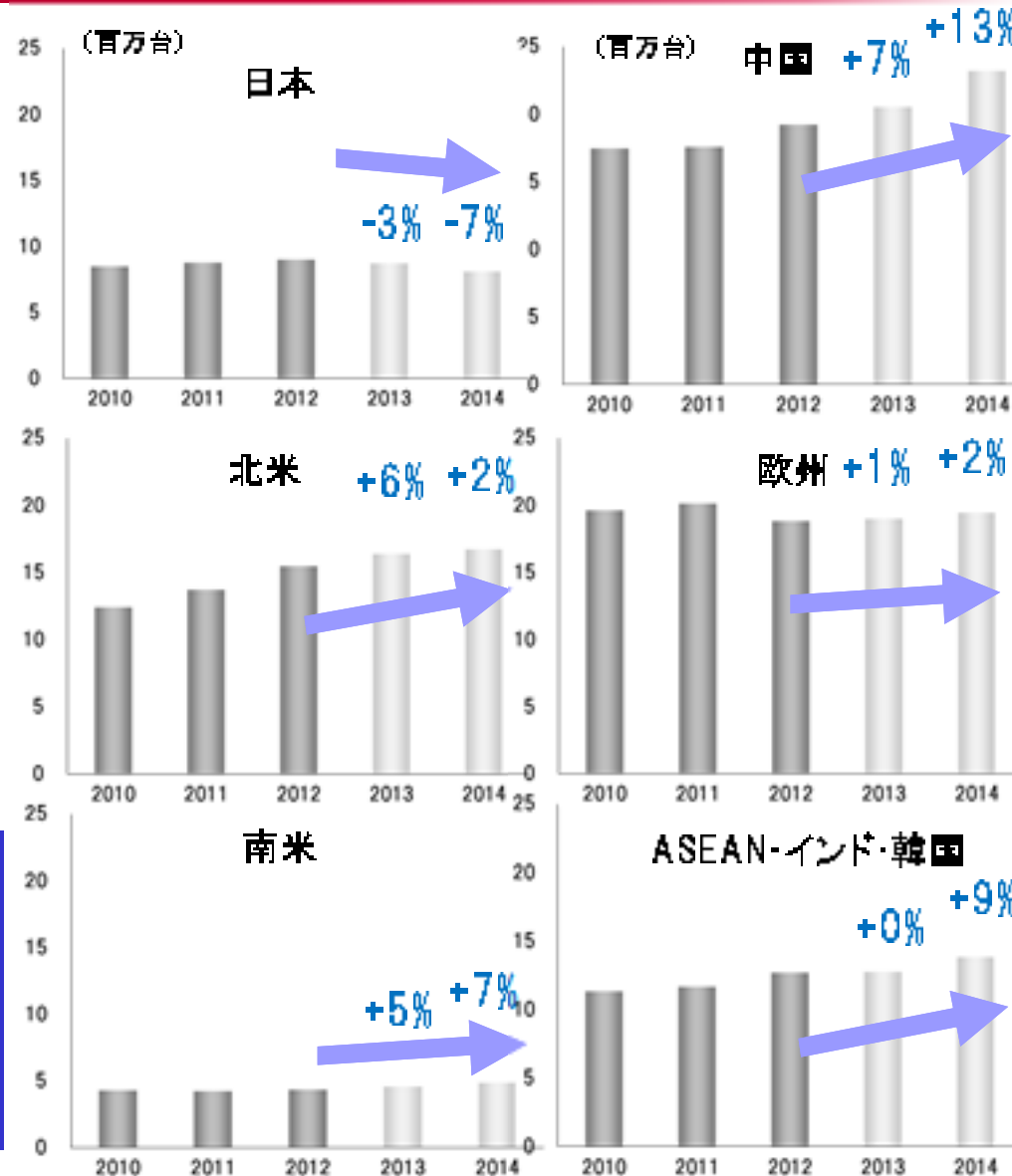


Our Precision, Your Advantage



出典: HIS 2013年9月末データ

**世界市場での生産台数  
増加傾向が継続**



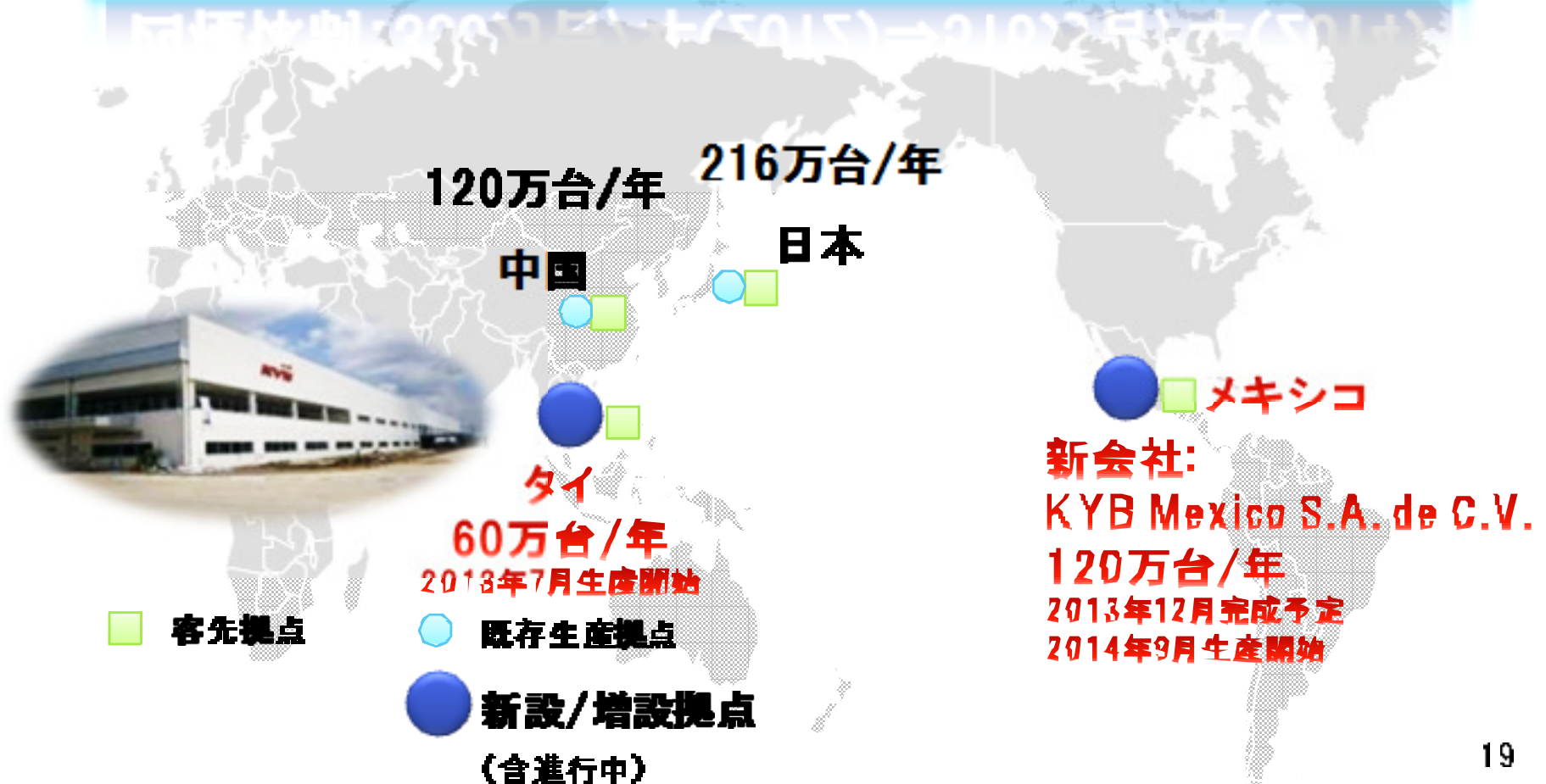
## 3-2.中期計画進捗状況(AC事業)

11-13 中期計画	2013年度上期	2013年度下期～
開発体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 開発実験センターの構築(日本)</li> <li>- 実験評価体制の構築(米国)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 高機能SA(ハーモフレック、IDC)開発と客先プレゼ開始(日本、欧州、米国)</li> <li>- LD活動(最適スペックの検討)</li> <li>- ヤマハ社とのJVによる二輪開発力強化</li> </ul>
海外OEMへの拡販	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非日系顧客への拡販活動</li> <li>- テストコースを利用した欧米顧客への実車プレゼ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 非日系顧客への拡販活動継続</li> <li>- 欧州顧客への拡販提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 開発と営業の一体活動</li> </ul> </li> <li>- 現代自動車に納入開始(ブラジル)</li> </ul>
SA市販倍増	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 市販用SAの海外生産能力の増強(ブラジル、中国、米国)</li> <li>- ロシア販社、本格的活動がスタート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 市販用SAの生産供給体制構築(ブラジル、中国、米国)</li> <li>- 極東地域の営業活動強化(ロシア)</li> </ul>
CVT用ポンプ生産体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>タイ量産開始</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>CVT最適供給体制の構築</b></li> <li>- <b>新工場竣工(メキシコ)</b></li> </ul>

中期  
ゴール  
世界で  
稼げる  
体制  
構築

# CVT用ポンプグローバル生産体制

客先ニーズに応じたグローバル供給体制確立  
四極体制:336万台/年(2012)⇒516万台/年(2014)



## 4. HC(ハイドロリックコンポーネンツ) 事業の状況

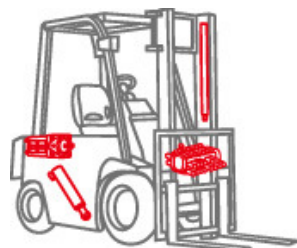
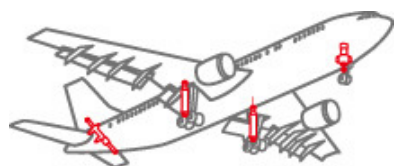
## 4.HC事業



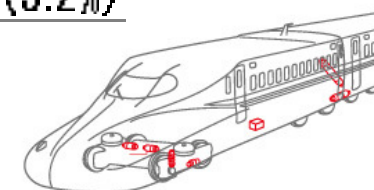
Our Precision, Your Advantage

### セグメント内訳

航空機用油圧機器 5.9%(5.6%)



その他油機 4.4%(5.2%)



2013年上期  
売上実績  
571億円

産業用油圧機器

89.7%  
(89.2%)



( )内は2012年度構成比率

### ■主要製品

産業用油圧機器 : シリンダ、走行モータ、旋回モータ、コントロールバルブ、ポンプ  
(建設機械、フォークリフト、農業機械向け)

航空機用油圧機器 : アクチュエータ、ホイールブレーキ

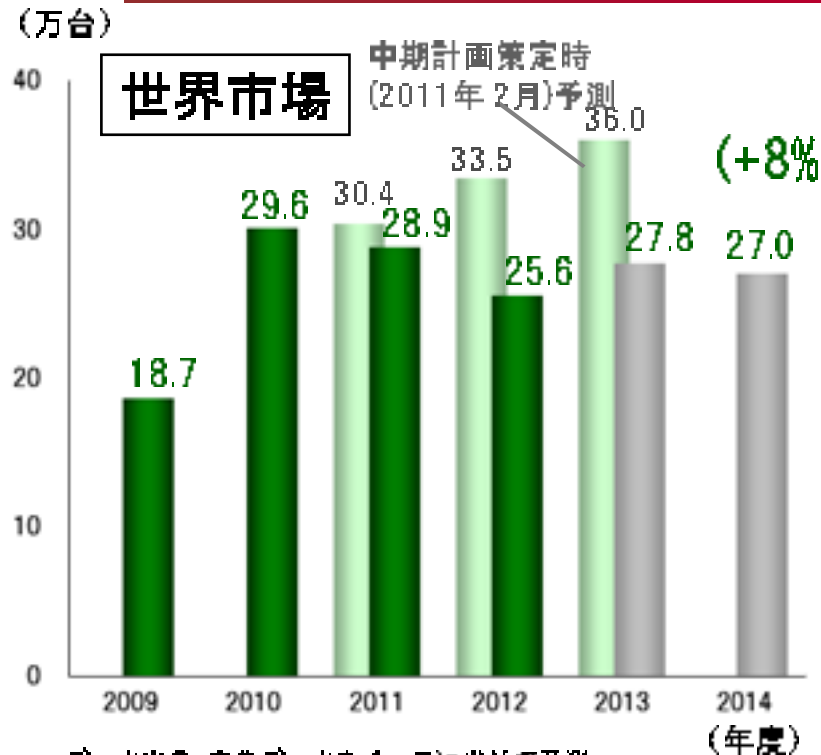
その他製品 : 鉄道用ダンパ、セミアクティブシステム

# 4-1.市場環境(油圧ショベル;6t以上)

## グローバル地域別生産台数予測



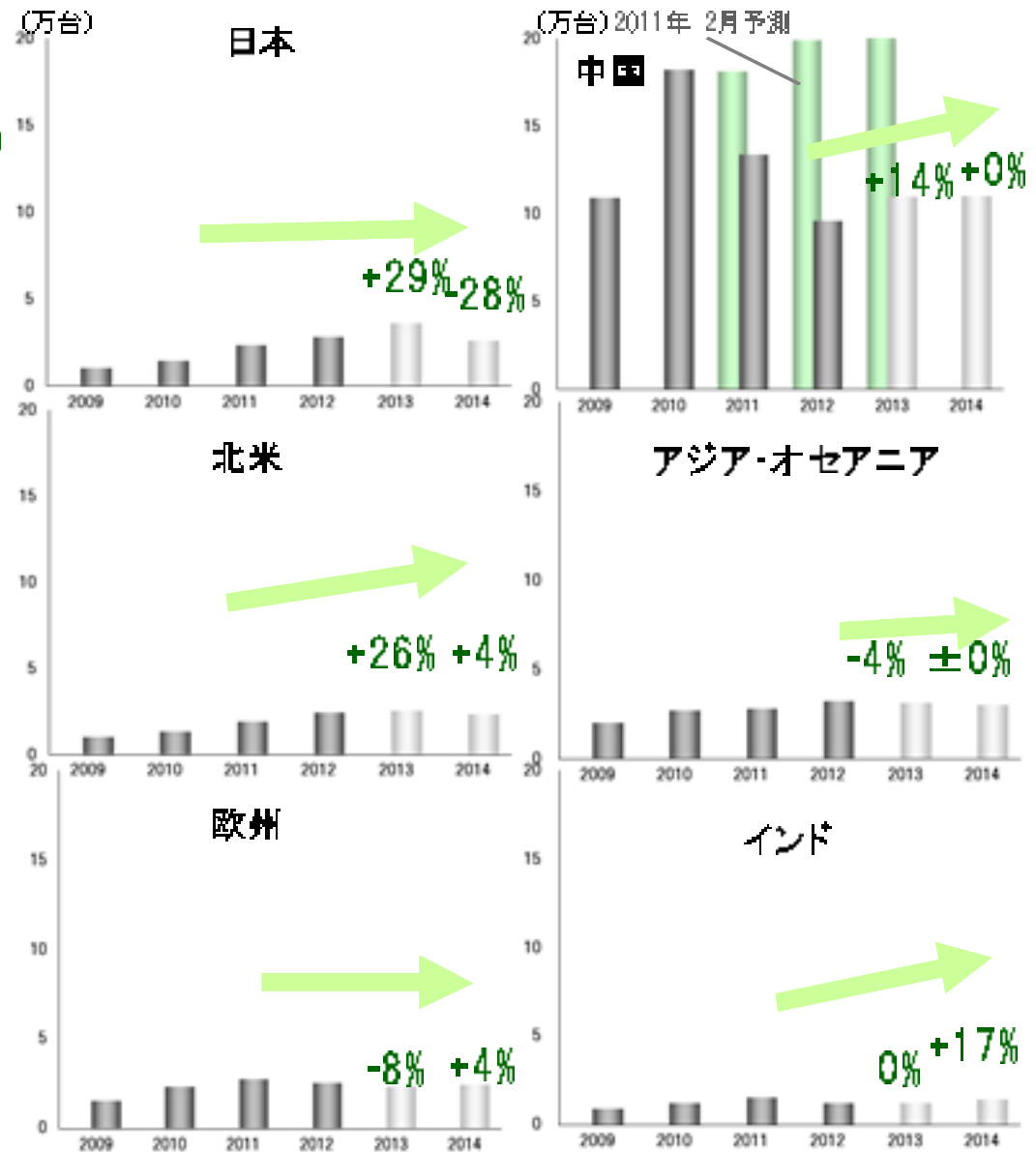
Our Precision, Your Advantage



データ出典: 客先データをベースに当社で予測

■ 実績      ■ 中期計画策定時予測  
■ 2013年10月予測

2012年を底に緩やかに増加傾向(中国の影響大)  
国内は、復興需要、排ガス・消費税の駆け込みで増加



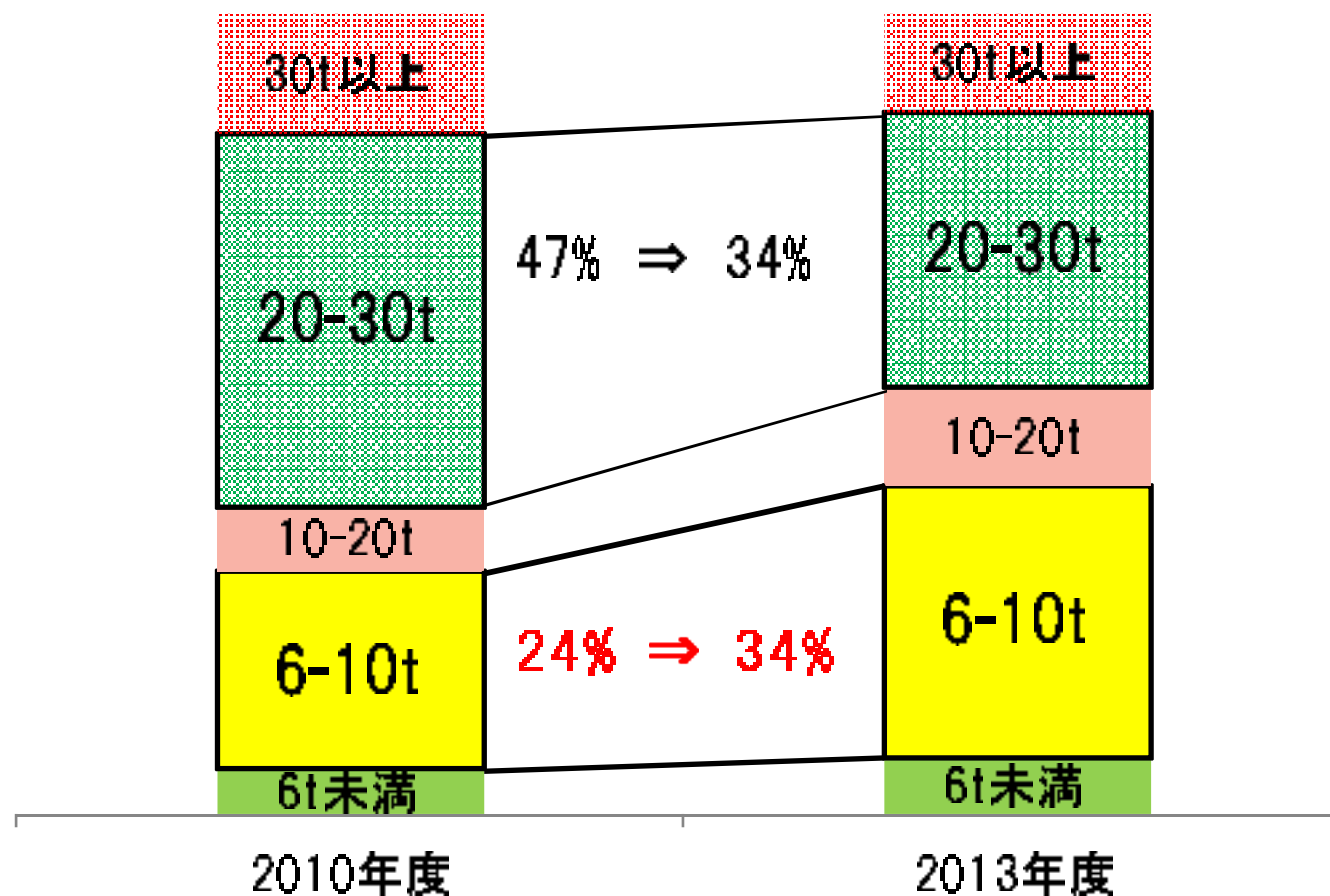
## 4-1.市場環境(油圧ショベル;6t以上)

### 中国市場



Our Precision, Your Advantage

中国市場で6～10tの小型ショベルの販売割合が増加している





## 4-2.中期計画進捗状況(HC事業)

11-13 中期計画

2013年度上期

2013年度下期～

### 【生産体制整備】

中型ショベル用  
コントロール  
バルブ増産体制  
整備

-KYB-CADAC新工場竣工  
生産開始

・相模スプール熱処理  
内製化

ミニショベル用  
シリンダ  
生産体制整備

-KYB-YS新工場竣工

・グローバル要求コストに  
応える革新ラインの構築、  
生産開始

中型ショベル用シ  
リンダ  
アセアン地区  
進出

・インドネシア工場用地  
確保

・インドネシア新工場建設

小型ショベル用  
走行/旋回モータ  
生産体制

・小型ショベル用走行/旋  
回モータの中国生産検討

・小型ショベル用走行/旋回  
モータの中国生産の体制  
づくり

中期  
ゴール

世界需要  
に応える  
生産体制  
の完成

## 4-2.中期計画進捗状況(HC事業)

**KYB**  
Our Precision, Your Advantage

### **KYB-CADAC(長野県)**

**コントロールバルブ用鋳物新工場  
(2013年9月生産開始)**



### **KYB-YS(長野県)**

**ミニシヨベル用シリンダ  
革新ライン新工場  
(2014年2月生産開始予定)**

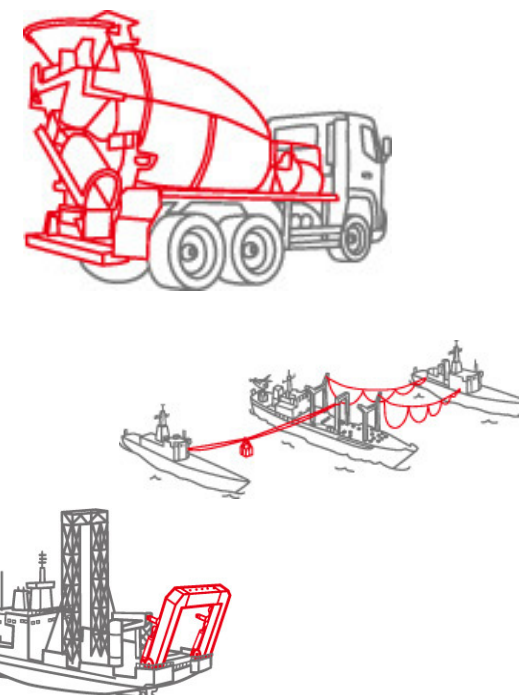
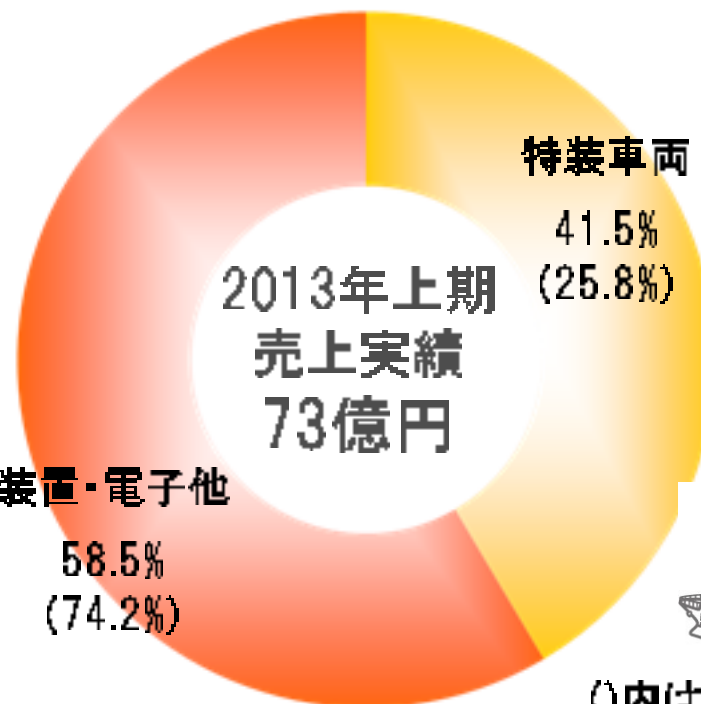
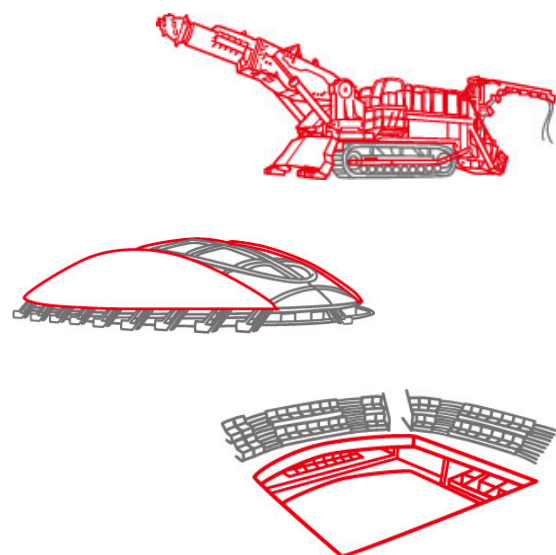
## 5. その他事業の状況

## 5. その他事業

**KYB**

Our Precision, Your Advantage

### セグメント内訳



### ■主要製品

特装車両 : コンクリートミキサ車

装置・電子他: 免制震装置、舞台機構、建物装置、トンネル掘削機

船舶機器、試験装置、環境関連装置、電子機器

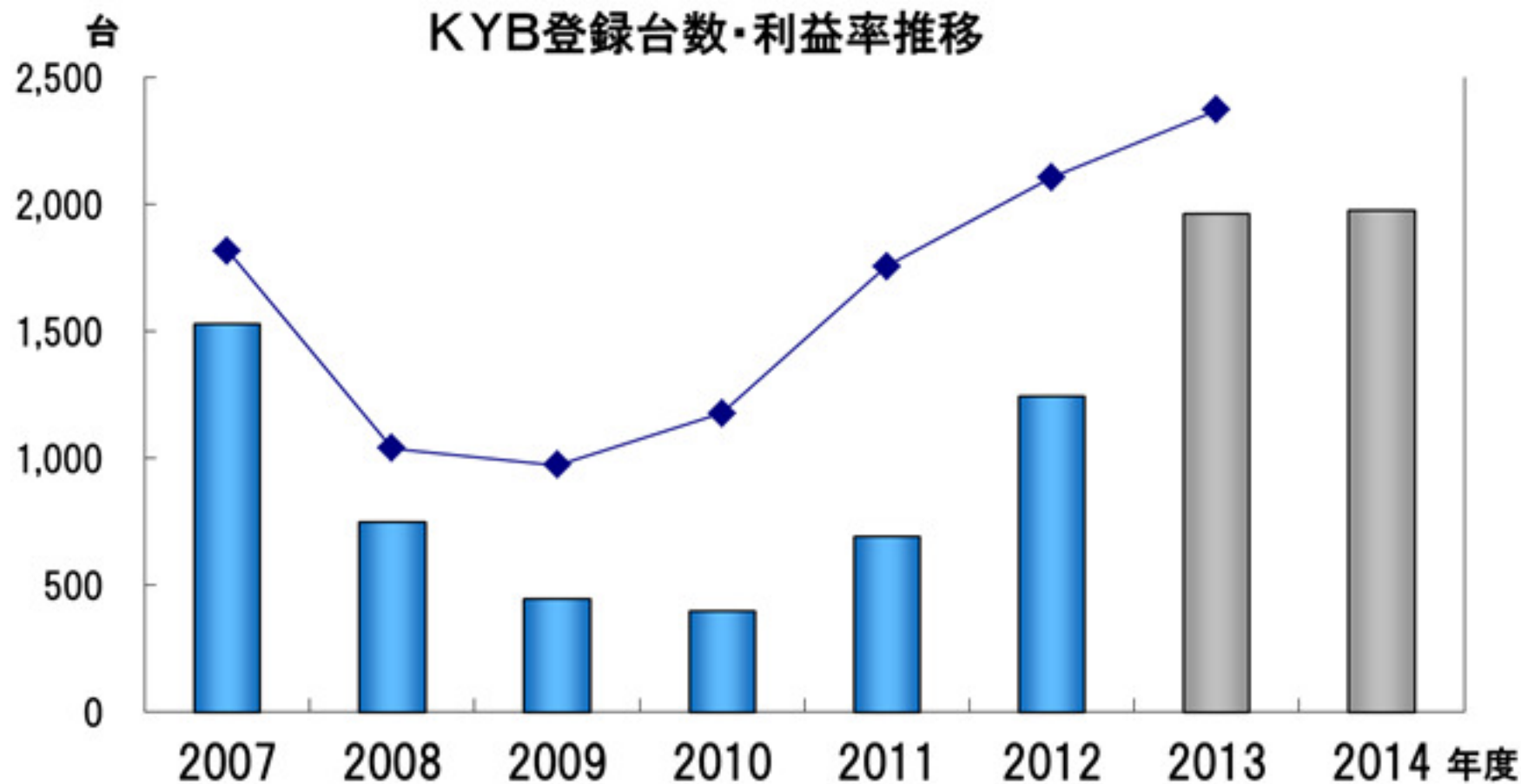
( )内は2012年度構成比率

## 5-1. その他事業

### 特装車両事業 - コンクリートミキサ車

国内：復興需要・買い替え需要が継続

生産能力 6.1台/日(2012年下期)⇒8台/日(現状)



## 5-1. その他事業

### 特装車両事業 - コンクリートミキサ車

**KYB**

*Our Precision, Your Advantage*

インド：Conmat Systems Pvt.Ltd (グジャラート州)と合併

2013年 8月生産開始

Conmat社の既存客先及び新規客先へ拡販

生産台数 2014年度：450台⇒2020年度2,000台



## 5-2. その他事業

カヤバシステムマシナリー(三重) - 免制震ダンパ

**KYB**

Our Precision, Your Advantage

東日本大震災で長周期地震への免制震ダンパの効果を実証  
需要増に対応した生産体制構築  
生産能力 200基/月 ⇒ 350基/月(2013年12月新工場竣工予定)



東京オリンピック開催決定



建築需要増により免制震  
ダンパ需要増も期待される

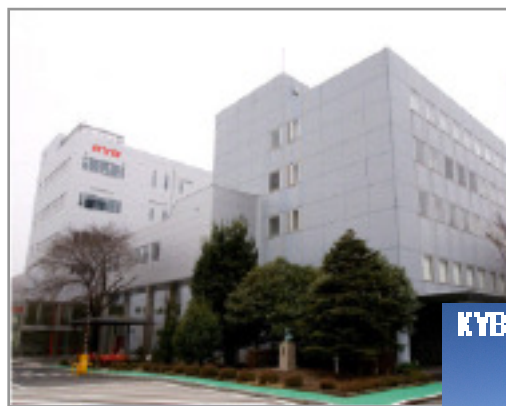
## 6.開発・モノづくり



# 6-1.開発・評価技術とモノづくり技術の強化



## 開発



開発拠点



KYBトロンデュール 第二工場  
2012年10月竣工  
(新潟県長岡市)

生産拠点

電子開発技術・モノづくりを強化  
自動車・建機・鉄道用ECU・GPS端末



工機センター 2011年10月設立  
生産技術研究・工機センター棟  
2013年4月竣工(岐阜県可児市)

KYB専用設備の内製化による  
ノウハウの蓄積と信頼性の向上



開発実験センター  
(岐阜県加茂郡)

開発実験センター(テストコース)の活用  
お客様と一体となった評価の推進

## 6-2. 電子技術強化

### 油圧 × 電子の『未来』



TD第2工場

ソフト（開発）  
電子技術センター

ハード（モノづくり）  
KYBトロンデュール



TD第2工場にて高機能EPS用ECU生産開始  
2013年4月～

### KYBトロンデュール 3つのドメイン

車載電装品  
(ECU)

通信技術製品  
(GPS、NW周辺機器)

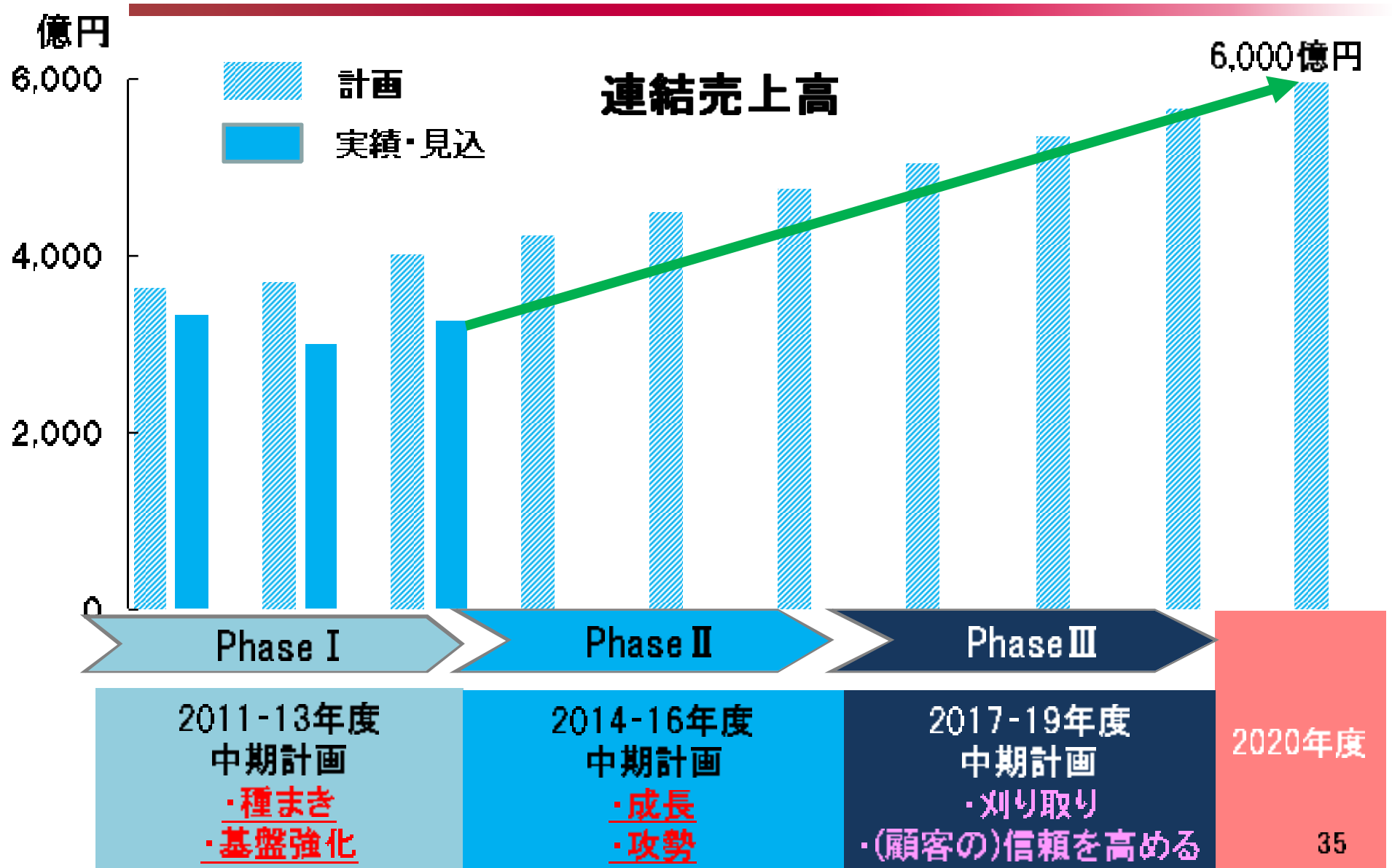
新規分野への参入



DAS (ステアバイワイヤ・高機能EPS)

# 7. 次期(2014~16)中期計画 について

# 7-1.次期中期計画に向けての取組み



# 7-1.次期中期計画に向けての取組み



世界情勢・環境・ニーズが激変  
 ・スピードと柔軟性により、あらゆるリスクに耐え 変化に強い企業体質の早期実現  
 ・次期中期成長への果敢に挑戦

グループ経営力強化へ  
 ・新たな付加価値製品を開発  
 ・海外生産による競争力強化  
 ・人財・生産技術を海外子会社へ展開

FY2011-2013 重点方策	人財育成	・グローバル人財の育成と確保 ・多様性を活かした人財活用
	技術・商品開発	グローバル 電子部品の開発 5極開発体制強化 建機用電動油圧省エネシステム (日・欧・米・中・ASEAN)
	モノづくり	現地調達拡大 LT50の海外展開と物流改革 主要製品生産 新興国積極展開
	マネジメント	地域統轄体制 グローバルマネジメント体制確立 市販ショックアブソーバ 販売拠点拡大(ロシア・トルコなど)

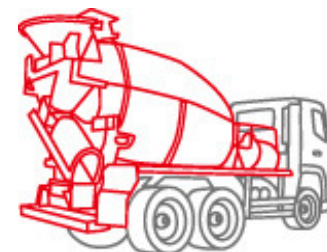
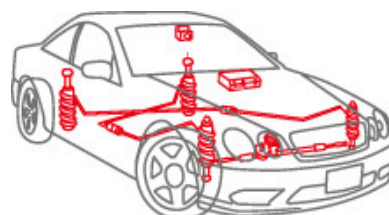
**【目指す姿】**  
 世界のお客様に  
 納入し  
 信頼される  
 サプライヤー

Phase2(次期中期)は  
 「2020年ゴールに向け、グループ総力をあげてグローバルで  
**成長に向けた攻勢**を仕掛ける」 2014年5月設定予定

**KYB**

*Our Precision, Your Advantage*

# ご静聴ありがとうございました。



お問い合わせ先  
取材のお申し込み先

⇒ IR室 03-3435-3580(直) 担当:大谷



*Our Precision, Your Advantage*

**ご注意事項**

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おき下さい。